

2023年10月12日

関電不動産開発株式会社

**豪州・ニューサウスウェールズ州・オーチャードヒルズにおける
新たな宅地開発事業への参画について**

関電不動産開発株式会社（本社：大阪市、社長：藤野研一）は、今般、豪州において、現地法人 Kanden Realty & Development Australia Pty Ltd（以下、KRD Australia）を通じて、新たな宅地開発事業に参画することとなりましたので、お知らせいたします。

参画する案件はニューサウスウェールズ州を中心に不動産開発を行う Legacy Property（本社：シドニー、CEO：Matthew Hyder、以下、Legacy 社）がシドニー近郊のオーチャードヒルズエリアで開発を行う Orchard Hills（オーチャードヒルズ）宅地開発事業です。

記

■参画の背景及びプロジェクトの特徴

当社は、現地優良パートナーである Legacy 社が主導するシドニー近郊の大規模宅地開発事業への参画を決定いたしました。同社主導プロジェクトへの参画は、先行するラウズヒルハイツ宅地開発事業に続き 2 件目となります。

本プロジェクトは、ニューサウスウェールズ州シドニー西部の「オーチャードヒルズ」エリアにおいて、宅地開発・分譲を行う計画で、総区画数 1,198 区画、総面積約 150 ヘクタールに及ぶ大規模宅地開発事業です。計画敷地の中には、豪州の広大な敷地と豊かな自然環境を残しつつ、主要道路の整備や公園、レクリエーション施設、近隣商業センター等を含み、既存の地域住民にとってもより親しみやすく利便性の高い居住空間を創出していくことに繋がると期待しています。

■エリアの特徴

オーチャードヒルズはシドニー西部の中核都市ペンリスの近隣エリアであり、生活利便性が高く、鉄道や高速道路等の交通網が整備されていることから近年人口増加が著しく、郊外住宅地としての成熟度も高まってきているものと考えています。また、本エリアは 2026 年開業予定の西シドニー空港を中心としたウェスタンパークランドシティ都市圏にも程近く、空港を中心とした新たな鉄道や道路も周辺に整備されることから、一層の都市基盤の成熟に期待しています。更には、西シドニー空港が開業して以降は新規雇用の創出等も期待されることから、住宅市場としては継続的な発展を遂げるエリアであると捉えています。

■今後の豪州における展開

当社は、海外不動産事業全体における豪州の投資割合を現状の 2 割弱から 3 割程度に引き上げるべく、今後豪州における投資を一層拡大していく方針です。昨年には、現地企業に出向社員を 1 名派遣し更なるノウハウ蓄積をはかりつつ、2024 年度を目途に、投資用ビークルとして設立した KRD Australia を有人化することも検討しており、豪州においてより盤石な事業体制を整備し

ていく方針です。

当社は今後、当該宅地開発事業への参画を通じて、豪州における不動産事業に関する知見をより一層拡充していくとともに、宅地開発事業のみならず、集合住宅開発事業、オフィス・物流施設等の開発や運営事業への投資も検討してまいります。またニューサウスウェールズ州以外の州においても更なる事業参画の機会を探求し、豪州における更なる収益拡大を目指します。

■物件概要

所在地 : City of Penrith, NSW, Australia

敷地面積 : 約 150 ha

総区画数 : 1,198 区画 (当社参画分)

スケジュール : 着工 / 2024 年 6 月 (予定)

竣工・引渡 / 2027 年 9 月 (予定)

「Orchard Hills」計画地周辺パース



■Legacy 社について

本プロジェクトを主導する Legacy 社は、住宅開発を中心に行う不動産開発会社であり、シドニー都市圏を中心に、過去 10 年以上に渡り 6,250 戸を超える住宅供給を行ってきました。大規模な宅地開発から中高層の集合住宅等、幅広い商品を提供し、住む人の満足を生み出す良質な住環境の創出を手掛けてきた会社です。

商号 : Legacy Property
代表者 : Matthew Hyder
設立 : 2009 年

■本ニュースリリース配布先

大阪建設記者クラブ

以 上